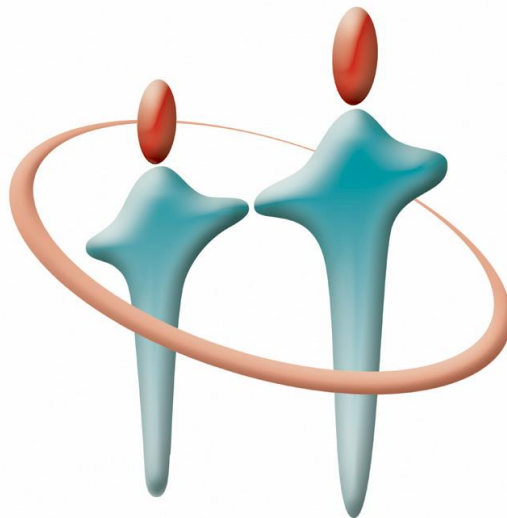


# 2019年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF  
NINGEN DOCK

公益社団法人  
日本人間ドック学会

# 目次

## (事業報告)

I. 序章	1
1. 事業計画	1
2. 役員／社員／会員数等	4

## (公益目的事業)

II. 第 60 回 日本人間ドック学会学術大会	5
1. 開催概要	5
2. 学術大会主要プログラム	6

III. 学会誌等	11
1. 和文誌	11
2. 英文誌	11
3. ニュースレター	11

IV. 人間ドック認定医制度	12
1. 第 21 回人間ドック認定医認定	12
2. 第 16 回人間ドック認定医更新	12

V. 人間ドック健診専門医制度	12
1. 2019 年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	12
2. 人間ドック健診専門医制度 研修施設・指導医 認定・更新数	12

VI. 人間ドック健診施設機能評価	13
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	13
2. 第 20 回サーベイヤー研修会	13
3. 公式講習会	13

VII. 研修会・人材育成活動	14
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	14
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	14
3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成	16

## (収益事業等)

VIII. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	16
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	16
2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約 A)	16

IX. その他の事業(相互扶助等事業)	17
1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業	17

**(決算報告)** 令和2年3月31日 現在

1. 貸借対照表 .....	1
・貸借対照表内訳表 .....	2
2. 正味財産増減計算書 .....	3
・正味財産増減計算書内訳表 .....	4
・財務諸表に対する注記 .....	6
3. 財産目録 .....	7
・附属明細書 .....	8

# 事業報告

## <事業報告>

### I. 序章

#### 1. 事業計画

##### 1) 学術大会開催に関する事項

###### (1) 第60回日本人間ドック学会学術大会

開催期日：2019年7月25日（木）・26日（金）

会場：ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター・岡山県医師会館・  
ANAクラウンプラザホテル岡山

テーマ：「Beside you 働く世代の健康増進をめざして！」

学術大会長：井上和彦（一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長）

###### (2) 国際学会等に関する事項

①第60回日本人間ドック学会学術大会の中で「国際セッション」として開催

②第27回国際健診学会 IHEPA2020/第4回国際人間ドック合同会議の広報活動  
・人間ドック学の世界へのプロパガンダ

##### 2) 研修会等開催に関する事項

①人間ドック健診認定医・専門医研修会（年3回）

②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年1回）

③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催（年2回）

④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年2回）

⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年5回）

⑥遺伝学的検査アドバイザー研修会（年2回）

##### 3) 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

（本学会単独事業）

①人間ドック認定医の認定/更新

（日本総合健診医学会との合同事業）

①人間ドック健診専門医試験の実施

②人間ドック健診専門医の認定/更新

③人間ドック健診指導医の（暫定）認定/更新

④人間ドック健診研修施設の（暫定）認定/更新

⑤セルフトレーニング問題の実施 他

##### 4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

①人間ドック健診施設機能評価の審査・認定

②サーベイヤーの教育・研修の企画立案

③認定施設の広告・広報活動（主に国民・地域住民向けおよび認定施設の情報共有）

④機能評価における保健指導体制構築に向けた支援事業の検討

⑤機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析

⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

##### 5) 人間ドック健診情報管理指導/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

①人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新

②遺伝学検査アドバイザーの認定

## 6) 特定健診・特定保健指導等に関する事項

- ① 特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介(集合契約A)
- ② 特定健診・特定保健指導に関する情報収集
- ③ 健康保険組合連合会と特定保健指導モデル事業の共同実施
- ④ 特定健診/がん検診実施施設支援事業
- ⑤ 風疹の抗体検査および風疹の第5期の定期接種に係る委託契約

## 7) 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ① 人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ② その他

## 8) 広報活動に関する事項

- ① 学会誌「人間ドック」VOL.34 NO.1～NO.5 発刊予定
- ② 英文誌「Ningen Dock International」VOL. 7 NO.1～NO.2 発刊予定  
\* 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- ③ 電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載する
- ④ 日本人間ドック学会「ニュースレター」の発刊(年2回)  
・各種委員会活動の広報

## 9) 委員会活動に関する事項

- ① 基本問題検討委員会
- ② 倫理・利益相反委員会
- ③ 財務委員会
- ④ 社員選任/役員選定委員会
- ⑤ 健保連人間ドック健診等の経営や契約に関する検討委員会
- ⑥ 学術委員会  
・がん登録委員会/喫煙対策委員会/女性の人間ドック健診の在り方に関する委員会/低線量CT肺がん検診推進委員会
- ⑦ リキッドバイオプシー委員会
- ⑧ 高齢受診者に対する人間ドック健診のあり方委員会
- ⑨ 人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会  
・婦人科小委員会/乳腺小委員会/腹部超音波小委員会/心電図小委員会  
尿沈渣小委員会
- ⑩ 人間ドック・健診用語集作成委員会(日本総合健診医学会との合同委員会)
- ⑪ 遺伝学的検査検討委員会  
・遺伝学検査に関する教育プログラム作成の為のWG
- ⑫ 編集委員会
- ⑬ 国際委員会
- ⑭ 広報委員会
- ⑮ 人間ドック健診施設機能評価委員会  
・Ver4および保健指導評価検討小委員会
- ⑯ 特定健診・特定保健指導対策委員会
- ⑰ 人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会との合同委員会)  
・試験問題検討/作成小委員会/認定小委員会/研修会検討小委員会/  
施行規則細則改訂小委員会/研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会

- ⑱人間ドック健診認定医/専門医制度委員会（本学会単独）
- ⑲人間ドック健診の有用性に関する大規模調査研究委員会
- ⑳人間ドック健診施設実態調査委員会

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

#### 1 0) 統計・調査に関する事項

- ①2018年度C会員全施設会員実態調査の実施
- ②がん症例調査(2017年度)の実施
- ③大規模研究調査(2017・2018年度人間ドック機能評価認定施設よりの電子データ)
- ④学術委託研究に関わる研究公募（継続および新規）
- ⑤その他
  - ・プライバシーマーク取得の更新
  - ・厚労省等研究事業等に積極的に参画

#### 1 1) その他

- ①2学会の連合体（仮称）「日本人間ドック・総合健診医学会」設立の検討
- ②高齢受診者に対する健診ガイドラインの作成
- ③人間ドック健診専門医制度の一般社団法人日本専門医機構による承認
- ④「健診団体連絡協議会」へ積極的参画、以下の項目を具体化
  - ・人間ドック健診施設認定の標準化
  - ・結果フォーマットの統一化
  - ・判定区分の統一化
- ⑤人間ドック健診の世界への普及事業、MEJ（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN）との包括的な連携
  - ・海外での学会開催等（セミナー等への協力）
  - ・海外展示会への連携（人間ドック施設機能評価の紹介等）他
- ⑥その他の活動
  - ・日本医学会加盟への働き掛け
  - ・日本医学健康管理評価協議会との連携
  - ・日本総合健診医学会との相互交流・意見交換会（理事長・副理事長懇談会の開催等）
  - ・国際モダンホスピタルショー等への参画
  - ・NPO法人日本人間ドック健診協会との相互協力

## 2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	3名
	理事	26名
	監事	3名
	(名誉理事長)	1名
	(名誉会員)	26名

②社員数 197名(内役員は32名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (2020年3月31日現在)

A会員 (医師)	5,904名
B会員 (医師以外)	424名
C会員 (施設 (医療機関))	1,715施設
S会員 (企業など)	33団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (2020年3月31日現在)

認定医交付人数	5,741名
専門医交付人数	1,858名
研修施設数 (累積認定)	328施設
指導医数 (累積認定)	958名
暫定研修施設 (指導医) 数	115施設 (109名)

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	7,641名 (2020年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名 (2020年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	433施設 (2020年3月31日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (2020年3月31日現在)

一日ドック	141施設
二日ドック	5施設
一日ドック・二日ドック両方	336施設



## (公益目的事業)

### II. 第60回日本人間ドック学会学術大会

#### 1. 開催概要

1. 開催日程 2019年7月25日(木)・26日(金)
2. 開催会場 ホテルグランヴィア岡山、岡山コンベンションセンター、岡山県医師会館、ANAクラウンプラザホテル岡山
3. 学術大会長 井上 和彦(一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長)
4. テーマ Beside You 働く世代の健康増進をめざして!
5. 開催内容

学術大会長講演	1セッション (1演題)
理事長講演	1セッション (1演題)
特別講演	3セッション (3演題)
教育講演	5セッション (5演題)
シンポジウム	3セッション (13演題)
パネルディスカッション	1セッション (4演題)
特別企画	4セッション (16演題)
遺伝学的アドバイザー研究会	1セッション (3演題)
学術委託研究公募中間報告	1セッション (7演題)
会員集会 第1部・第2部	2セッション
市民公開講座	1セッション (2演題)
一般演題(フレイバー・国際含む)	94セッション (500演題)
(内、口頭:404演題、ポスター93演題、国際セッション:3演題)	
ランチョンセミナー	24セッション (29演題)
アフタヌーンセミナー	3セッション (3演題)
計:	144セッション (587演題)

企業展示	114コマ (90社)
書籍展示	1ブース (1社)

6. 参加人数 5,372名(内4,591名/有料)
- 事前参加登録者数 2,986名  
(医師 1,699名)  
(医師以外 1,287名)

当日参加登録者数	1,605名
(医師)	994名
(医師以外)	611名

招待者	120名
ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー共催企業(27社)	216名
展示企業(89社)	445名

#### 7. 市民向け

- 市民公開講座「心もからだも健やかに！」  
第8回「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール表彰式  
主催：第60回日本人間ドック学会学術大会・NPO法人日本人間ドック健診協会  
参加者数 240名

以上

## 主要プログラム

### 第1日目 7月25日(木)

#### 第1会場(ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス)

##### ■ 開会式 8:15 ~ 8:45

##### ■ 学術大会長講演 8:45 ~ 9:15

「わが国の行うべきがん予防対策」

座長: 荒瀬 康司(虎の門病院 健康管理センター・画像診断センター 統括センター長)

演者: 井上 和彦(一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長)

##### ■ 理事長講演 9:15 ~ 9:45

「人間ドックよ、 Quo Vadis」

座長: 井上 和彦(一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長)

演者: 篠原 幸人(公益社団法人日本人間ドック学会 理事長/東海大学 名誉教授/  
国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長)

##### ■ 特別講演1 9:50 ~ 10:50

「これからの職場のメンタルヘルス: ストレスチェック制度、健康経営、働き方改革」

座長: 清水 信義(一般財団法人淳風会 医療診療セクター セクター長)

演者: 川上 憲人(東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野 教授)

##### ■ シンポジウム1 11:00 ~ 12:40

「働く世代のがん対策」

座長: 三原 修一(みはらライフケアクリニック 院長)

石坂 裕子(三井記念病院総合健診センター センター長)

演者: 「肺がんの予防と早期発見への取り組み」

西井 研治(岡山県健康づくり財団附属病院 内科 院長)

「人間ドックにおける大腸がん検診-今後求められる検診とは-」

野崎 良一(大腸肛門病センター高野病院 副院長)

「胃がんの一次予防から三次予防まで」

安田 貢(KKR高松病院人間ドックセンター センター長)

「働く世代の理想的な乳がん検診を考える」

渡邊 良二(糸島医師会病院 副院長)

「熊本県における子宮がん検診の向上のための取り組み」

2006年ショックからの12年間を振り返る」

片瀨 秀隆(熊本大学 大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座 教授/  
熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会子宮がん部会)

##### ■ 特別講演2 14:20 ~ 15:20

「リキッドバイオプシーの社会実装に向けての期待と課題」

座長: 中川 高志(医療法人 大宮シテッククリニック 理事長)

演者: 落谷 孝広(東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門 教授)

##### ■ 特別講演3 15:20 ~ 16:20

「線虫がん検査N-NOSEの発明と実用化」

座長: 和田 高士(東京慈恵会医科大学大学院医学研究科健康科学 教授)

演者: 広津 崇亮(株式会社HIROTSUバイオサイエンス 代表取締役社長/  
Queensland University of Technology (Australia), Adjunct associate  
Professor)

## 第6会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

### ■ シンポジウム2 14：20～16：00

「健康長寿をめざして～高齢者に対する健診のありかた～」

座長：津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター センター長）

岩男 泰（慶應義塾大学病院予防医療センター 教授・センター長）

演者：「健康長寿をめざして～高齢者に対する健診のありかた～」

荒井 秀典（国立長寿医療研究センター 病院長）

「高齢者における運動器健診の経験と展望」

石田 浩之（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 准教授／

慶應義塾大学病院予防医療センター）

「健診センターにおける高齢受診者への取り組み」

森山 優（医療法人 大宮シテイクリニック 副所長）

「高額医療の利用につながる後期高齢者の健診を用いた

効果的抽出と予防的介入の構築」

森山美知子（広島大学大学院 医系科学研究科 成人看護開発学 教授）

「日本人間ドック学会大規模研究データベースから見た

高齢受診者の状況とこれからの保健事業の動向」

津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター センター長）

### ■ 2018年度学術委託研究公募中間報告(7研究) 16：00～17：30

座長：岩男 泰（日本人間ドック学会 学術委員会 委員長／

慶應義塾大学病院予防医療センター 教授・センター長）

- ・フラッシュグルコースモニタリングシステムを用いた、新しい糖尿病負荷検査法及びドック後の効果的なフォローアップの可能性についての研究  
宮脇 尚志（京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授）  
（赤嶺 百子 京都女子大学大学院家政学研究科 生活環境学専攻 食物栄養学領域 博士後期課程）
- ・上腕足首間脈波伝播速度（baPWV）の経年変化および脳・心血管病変発症等の予後との関連についての検討  
福井 敏樹（医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック 院長）
- ・任意型人間ドックの価値評価-医療経済的な視点を考慮して-  
杉森 裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 学科長）
- ・心臓における拡張機能障害の病態解明と新たな診断法の開発応用  
正木 充（兵庫医科大学 臨床検査医学・循環器内科・健康医学クリニック 講師）
- ・新規インスリン抵抗性指標の妥当性と動脈硬化への影響についての検討  
中込 敦士（千葉大学医学部附属病院 医員）
- ・緑内障診断の限界を克服する人間ドックにおける科学的根拠に基づいた眼科系検査の確立  
寺内 稜（東京慈恵会医科大学 眼科学講座 助教）
- ・尿中Na/K比を用いた新しい原発性アルドステロン症スクリーニング法の開発  
梶田 出（医療法人財団康生会 武田病院健診センター 所長）

## 第7会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

### ■ 教育講演1 10：30～11：30

「人間ドックにおける高血圧対応から動脈硬化対策について」

座長：加藤 公則（新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 教授／

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会）

演者：福井 敏樹（医療法人如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 院長）

■ 教育講演2 11:40 ~12:40

「2型糖尿病の病態と予防・治療の最新知見」

座長：伊藤千賀子（医療法人 グランドタワーメディカルコート 理事長）

演者：門脇 孝（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座  
特任研究員／帝京大学医学部附属溝口病院 病態栄養学講座）

■ 教育講演3 14:20 ~15:20

「どうやってたばこから離脱するか」

座長：佐々木 寛（医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院婦人科 部長／  
東京慈恵会医科大学 客員教授）

演者：中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター  
センター長）

■ 特別企画3 16:10 ~18:10

「第6回 健診看護実務者研究会」

テーマ：あなたも明日から指導のプロ！「働き盛りの人への運動指導（理論と実践）」

主 催：NPO法人日本人間ドック健診協会

第8会場（岡山コンベンションセンター 3F 301会議室）

■ 特別企画2 14:20 ~16:00

「人間ドック健診施設認定事業シンポジウム ～受けてよかった機能評価～」

座長：野村 幸史（人間ドック健診施設機能評価委員会 委員長）

〈第一部〉

1. 「機能評価事業の概要」

野村 幸史（人間ドック健診施設機能評価委員会 委員長）

2. 「機能評価Ver4.0-機能評価の考え方、Ver4.0開始後の事業報告-」

石坂 裕子（人間ドック健診施設機能評価委員会 副委員長／  
Ver.4.0および保健指導評価検討小委員会 委員長）

3. 「機能評価受審にあたっての取り組み」

①医療法人社団東山会 調布東山病院

②地方独立行政法人 新小山市市民病院 予防医学センター

〈第二部〉

「2018年度表彰施設プレゼンテーション」

① 「結果説明と指導を活用したフォローアップ体制について」

北海道厚生農業協同組合連合会 JA北海道厚生連 旭川厚生病院

② 「接遇大賞受審申請から受賞までのプロセスについて」

公益財団法人 筑波メディカルセンター つくば総合健診センター

③ 「かるしお認定制度について」

地方独立行政法人 長野市民病院 健診センター

④ 「機能評価項目に基づく、BSCを活用した業務改善体制について」

社会医療法人財団 白十字会 佐世保中央病院 健康増進センター

第11会場（岡山県医師会館 2F 三木記念ホール）

■ 特別企画1 10:50 ~12:30（日本消化器がん検診学会・日本超音波医学会との共同企画）

「腹部超音波健診判定マニュアルの改定に向けて：アンケート調査から見えた課題」

座長：田中 幸子（公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター顧問）

平井都始子（奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター 病院教授）

演者：「実施基準の課題と改訂案」  
千葉 祐子（公益財団法人 北海道労働保健管理協会 臨床検査部 課長）  
「腹部超音波健診判定マニュアルの改定に向けて肝臓・脾臓の  
判定基準の課題と改訂案」  
小川 眞広（日本大学病院 消化器内科 超音波検査室 科長・超音波室長）  
「胆道・膵臓の判定基準の課題と改訂案」  
岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科 部長・内視鏡センター長）  
「腎臓・その他の判定基準の課題と改訂案」  
平井都始子（奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター 病院教授）

## 第2日目 7月26日（金）

### 第1 会場（ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス）

- 日本人間ドック学会会員集会 第1部 8:20 ~ 8:50  
「2019年度 事業計画・収支予算 報告」  
報告：篠原 幸人（日本人間ドック学会 理事長）  
那須 繁（日本人間ドック学会 財務委員会 委員長）
- シンポジウム3 9:00 ~10:40  
「4年目を迎えたストレスチェック制度の意義と問題点」  
座長：折津 政江（日本赤十字社医療センター健康管理科 顧問）  
村上 正人（国際医療福祉大学 教授／山王病院心療内科 部長）  
演者：「ストレス関連疾患の予防とストレスチェック制度の意義」  
村上 正人（国際医療福祉大学 教授／山王病院心療内科 部長）  
「働き方改革に向けたストレスチェック制度の意義」  
三ツ林裕巳（衆議院議員自民党厚生労働部会 副部会長／日本大学医学部客員教授）  
「当法人におけるストレスチェック制度への取り組み」  
羽田野今日子（医療法人順風会 順風会健診センター 産業保健支援室 保健師）  
「企業におけるストレスチェックの実態と問題点」  
伊藤 克人（東京急行電鉄株式会社東急病院健康管理センター 所長／  
東京急行電鉄株式会社東急病院 心療内科 医長）
- 日本人間ドック学会会員集会 第2部 15:00 ~ 16:15  
「第61回日本人間ドック学会学術大会・第27回国際健診学会／第4回国際人間ドック会議」  
報告：第61回学術大会長：荒瀬 康司  
（虎の門病院健康管理センター・画像診断センター 統括センター長）  
国際大会大会長：篠原 幸人（国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長／  
東海大学 名誉教授）

#### 各種委員会報告

- ①『人間ドック健診 2016年度の集積データ解析結果』  
座長：加藤 公則（人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会 委員長）  
報告：和田 高士（人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会 副委員長）
- ②『日本人間ドック学会 会員施設実態調査報告』  
報告：新 智文（人間ドック健診実態調査委員会 委員長）

#### 表彰式

人間ドック健診施設機能評価優秀賞（9施設）  
2018年度 学会誌優秀論文賞（和文誌・英文誌）

■ 閉会式 16:15 ~ 16:30

プレナリーセッション最優秀口頭・ポスター（学術大会長賞）表彰式

**第4会場（ANAクラウンプラザホテル 1F 曲水 東）**

■ 遺伝学的検査アドバイザー研修会 14:05 ~15:35

「予防医学と遺伝医学の新展開」

座長：田口 淳一（医療法人社団ミッドタウンクリニック 院長）

座長：戸崎 光宏（相良病院附属ブレストセンター 放射線科 部長／

昭和大学医学部放射線医学講座 客員教授）

演者：「遺伝学的検査アドバイザー研修 e-learningの重要項目」

田口 淳一（医療法人社団 東京ミッドタウンクリニック 院長）

「遺伝カウンセリングの基本」

堀尾留里子（医療法人社団ミッドタウンクリニック 先端医療研究所

認定遺伝カウンセラー）

「遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）未発症者サーベイランスと乳房MRI検診」

戸崎 光宏（相良病院附属ブレストセンター 放射線科 部長／

昭和大学医学部放射線医学講座 客員教授）

**第6会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）**

■ 特別企画4 9:00 ~10:40（日本消化器内視鏡学会・日本ヘリコバクター学会との共同企画）

「わが国からの胃がん撲滅をめざして」

座長：芳野 純治（医療法人松柏会 大名古屋ビルセントラルクリニック 院長／

藤田医科大学 名誉教授）

座長：春間 賢（一般財団法人淳風会 医療診療セクター 副セクター長）

演者：「胃癌内視鏡検診と細径経鼻内視鏡」

河合 隆（東京医科大学 消化器内視鏡学分野 主任教授）

「胃炎の京都分類 からみたヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の内視鏡診断

鎌田 智有（川崎医科大学 健康管理学 教授）

「働く世代の胃がん死撲滅にドックの果たす役割と年齢別対策」

間部 克裕（国立病院機構函館病院 消化器科 部長）

「わが国におけるヘリコバクターピロリ感染症対策；若年者への対策を中心に」

菊地 正悟（愛知医科大学 医学部 公衆衛生学 教授）

共催：富士フイルムメディカル株式会社

**第7会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）**

■ 教育講演4 10:25 ~11:25

「がん免疫療法とは-免疫チェックポイント阻害剤によるがん治療の変革-」

座長：岩男 泰（慶應義塾大学病院予防医療センター 教授・センター長）

演者：山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授）

■ 教育講演5 11:30 ~12:30

「膵癌早期診断の最前線」

座長：春間 賢（一般財団法人淳風会 医療診療セクター 副セクター長）

演者：花田 敬士（JA尾道総合病院消化器内科 内視鏡センター長）

■ 市民公開講座 14:20 ~16:10

「心もからだも健やかに!」

座長：清水 信義（一般財団法人淳風会 医療診療セクター セクター長）  
MC：塩見 泰子（気象予報士・防災士・健康気象アドバイザー）  
演者：「人生100年時代を健やかに タニタが考える健康をつくる食習慣」  
龍口 知子（株式会社 タニタヘルスリンク サービス企画部 プロデューサー）  
「昨日の自分より一歩前へ ～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～」  
平野早矢香（2012年ロンドンオリンピック 銀メダリスト）

■ 第8回「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール表彰式

- (1) 3賞受賞者紹介・賞品授与
- (2) 最優秀賞作品朗読
- (3) 記念撮影

■国際セッション

第6会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）11：30～12：00

座長：鏑木 淳一（医療法人社団三友会 あけぼの病院 健診部 部長）

IS-1 【Market Survey in Taiwan, Series II】 The Difference Between Symptomatic Patients and Physicians When Choosing Health Examination Plans

○Yi-hsuan Li <sup>1)</sup> Szu-Hsien Lee <sup>1)</sup> Chin-Fu Kuo <sup>2)</sup>  
Family Medicine Department, Taichung Tzuchi Hospital <sup>1)</sup>  
Preventive Medicine Center, Taichung Tzuchi Hospital <sup>2)</sup>

IS-2 Influence on atherosclerosis risks caused by BMI changes

○Yasuhiro NISHIZAKI <sup>1)</sup> Nana URATA <sup>2)</sup> Takeo SHIBATA <sup>3)</sup>  
Emiko KIKUCHI <sup>1)</sup> YAMADA Chizumi <sup>1)</sup> Shinji TAKASHIMIZU <sup>1)</sup>  
Akira KUBO <sup>1)</sup> Noriaki KISHIMOTO <sup>1)</sup> Naoaki ISHII <sup>3)</sup>  
Health Screening Center, Tokai University Tokyo Hospital <sup>1)</sup>  
Department of Clinical Health Science, Tokai University School of Medicine <sup>2)</sup>  
Department of Health Management, School of Health Science, Tokai University <sup>3)</sup>

IS-3 Ultrasonography for joints in addition to IgM RF and ACAP is useful to find rheumatoid arthritis (RA) patients in Ningen Dock

○Junichi Kaburaki  
Preventive Health Care Center, Akebono Hospital

### III. 学会誌等

①和文誌「人間ドック」(年5回)

VOL. 34 NO. 1 2019. 6 (原著論文集)  
VOL. 34 NO. 2 2019. 7 (学術大会プログラム・抄録集)  
VOL. 34 NO. 3 2019. 9 (原著論文集)  
VOL. 34 NO. 4 2019. 12 (原著論文集)  
VOL. 34 NO. 5 2020. 3 (原著論文/学術大会開催案内集)

②英文誌「Ningen Dock International」(年1回)

VOL. 7 NO. 1 2020. 3 (原著英文誌)

③日本人間ドック学会 ニュースレター

VOL. 3 VOL. 4 VOL. 5

## IV. 人間ドック認定医制度

### 1. 第21回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、2019年4月1日以降の認定者数は177名であり、認定医交付総数として5,741名となった。

### 2. 第16回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、2019年4月1日以降の更新者数は255名であり、更新者総数は4,275名である。

## V. 人間ドック健診専門医制度

2011年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、2012年度より日本総合健診医学との合同事業となった。2019年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、当日受験者数125名（日本人間ドック学会96名、日本総合健診医学会29名）、受験合格者数は125名であり、全員が2019年度人間ドック健診専門医認定者となった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。

また、専門医受験者数を増やす目的で、大学病院等も含め暫定指導医・暫定研修施設の委嘱を行った。

### 1. 2019年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同8回目）

日時：2019年10月20日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会場：品川フロントビル 地下1階会議室（東京都港区港南2-3-13）

受験対象者：受験資格該当者（研修施設での満3年以上の研修歴がある者）

試験内容： 試験問題集および追加問題含め 計100問出題  
100分間 マークシート方式による筆記試験

#### ◆2019年度人間ドック健診専門医 認定者数（※2019年度更新者数：459名）

日本人間ドック学会 2019年度専門医認定者数：96名、

（日本総合健診医学会：29名 2019年度認定者数 両学会合計125名）

認定期間は、2020年4月1日～2025年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数（ドック学会累計）：1,858名】

### 2. 2019年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

日本人間ドック学会 新規認定指導医：17名 新規認定研修施設：4施設

（日本総合健診医学会： 新規認定指導医：9名、新規認定研修施設：1施設）

【人間ドック健診指導医 認定者数（ドック学会 累計）：958名 ※更新指導医：152名】

【人間ドック健診研修施設 認定数（ドック学会 累計）：328施設 ※更新研修施設：49施設】

※暫定指導医・暫定研修施設として、大学病院等を委嘱（5年間）した。（累計）

日本人間ドック学会 暫定研修施設：115施設（暫定指導医：109名）

（日本総合健診医学会： 暫定研修施設：75施設（暫定指導医：74名））

委嘱認定期間は、2020年4月1日～2025年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。



## VI. 人間ドック健診施設機能評価

2020年3月末現在、641施設から受審申請がある。認定施設の累計は434施設である。

(うち3回更新済み38施設、2回更新済み171施設、1回更新済み83施設、更新辞退50施設)  
認定施設の分布状況は、46都道府県に認定施設がある。

【認定施設の分布 \*2020年3月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	64	滋賀県	3	香川県	4
青森県	3	神奈川県	21	京都府	12	愛媛県	5
岩手県	4	新潟県	5	大阪府	24	高知県	3
宮城県	9	富山県	3	兵庫県	13	福岡県	12
秋田県	5	石川県	4	奈良県	4	佐賀県	1
山形県	3	福井県	2	和歌山県	1	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	5
茨城県	3	長野県	15	島根県	2	大分県	4
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	9	広島県	12	鹿児島県	4
埼玉県	13	愛知県	25	山口県	3	沖縄県	5
千葉県	14	三重県	8	徳島県	1	海外(台湾)	2

### ●サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。

<第20回サーベイヤー研修会>

- 1.日 時：2019年7月24日(水) 13:00～17:00
- 2.会 場：岡山コンベンションセンター3階(岡山市)
- 3.参加者：104名(医師サーベイヤー37名、事務サーベイヤー51名、看護職サーベイヤー13名、委員3名)

### ●公式講習会(Ver.4.0)

受審(希望)施設を対象に講習会を開催した。(第1回は2017年度に開催)

<第5回>

- 1.日 時：2019年4月18日(木) 12:30～16:30
- 2.会 場：主婦会館 7階 カトリア(東京都千代田区)
- 3.参加者数：62施設(107名)

<第6回>

- 1.日 時：2019年11月14日(木) 12:30～16:30
- 2.会 場：主婦会館 7階 カトリア(東京都千代田区)
- 3.参加者数：105施設(188名)

● 国際モダンホスピタルショー 2019 ホスピタルショウカンファレンス

日 時：2019年7月19日（金）13：00～14：30

会 場：東京ビッグサイト 会議棟6階（東京都江東区）

参加者数：120名

講 演：テーマ「人間ドック健診施設認定事業シンポジウム ～受けてよかった機能評価～」

プログラム「健診事業の質の向上を目指して

～人間ドック健診施設機能評価認定事業のご紹介～」

人間ドック健診施設機能評価委員会 委員長 野村幸史

同委員会 副委員長 那須繁

同委員会 副委員長 石坂裕子

健康保険組合連合会 参与 松本義幸

## VII. 研修会・人材育成活動

### 1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第52回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：2019年7月27日（土） 9：20～12：45

会 場：岡山 ホテルグランヴィア岡山 996名

開会挨拶

「認知症、とくにその診断と予防について」

「肺がんの最新知見～診断を中心に～」

「判例に学ぶ人間ドック・健診の医療安全」

●第53回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：2019年10月27日（日） 12：20～15：45

会 場：兵庫 神戸国際会議場 489名

「胃癌治療ガイドラインの歩みと読み解き方」

「産業保健における人間ドックの役割」

「CKD診療ガイドライン2018：5年ぶりの改訂と残された問題点」

●第54回(3/8)については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

### 2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日 程	会 場	認定者	内 訳
第33回	2019年5月31日（金） ～6月1日（土）	AP新橋（東京）	198名	医師：31名 保健師：126名 管理栄養士：41名 (他修了者：35名)
第34回	2020年1月24日（金）～25日（土）	大崎ブライトコ アホール (東京)	246名	医師：44名 保健師：150名 管理栄養士：52名 (他修了者：14名)

【2019年度 プログラム】

- 『人間ドック健診情報管理指導士の現状』
- 『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』
- 『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』

- エネルギー収支を改善するための保健指導
- 『食生活に関する保健指導の実際』
  - 『身体活動に関する保健指導の実際』
  - 『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』
  - 『行動変容に関する理論と実践』
  - 『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』
  - 『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』
  - 『人間ドック健診におけるがん検診-その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究

- 『初回面接のビデオ学習による演習』
- 『初回面接の記録について』
- 『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』
- 『全体のまとめ（質疑応答）/自己学習に向けた情報提供』

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会  
（対象：医師・保健師・管理栄養士・食生活改善指導士）

回	日程	会場	参加者数	内 訳
第 54 回	2019 年 7 月 6 日（土）	AP 東京八重洲通（東京）	<u>277 名</u>	医師：96 名 保健師：114 名 管理栄養士：59 名 看護師等：8 名
第 55 回	2019 年 9 月 14 日（土）	TKP ガーデンシティ淀屋橋（大阪）	<u>213 名</u>	医師：48 名 保健師：110 名 管理栄養士：53 名 看護師等：2 名
第 57 回	2019 年 11 月 17 日（日）	TKP ガーデンシティ名古屋名駅西口（名古屋）	<u>196 名</u>	医師：56 名 保健師：95 名 管理栄養士：45 名
第 58 回	2020 年 2 月 16 日（日）	大崎ブライトコアホール（東京）	<u>270 名</u>	医師：97 名 保健師：113 名 管理栄養士：59 名 看護師等：1 名

※第 56 回については台風 19 号の影響（10/12）並びに新型コロナウイルス感染症拡大の影響（3/20）で中止

【2019年度 プログラム】

- 『第 3 期の特定保健指導の経過とこれからの保健指導』
- 『専門家でなくてもできるお酒の減らし方』
- 『禁煙成功率を高める禁煙支援のポイント』
- 『実践したくなる！身体活動・運動の指導ポイント』

『健康と睡眠～睡眠呼吸障害を中心に～』

『事例検討』（演習テーマ：困難事例の検討）

（事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
  - ・ワーク 2 対象者への支援方法について
- （事例における食生活指導／運動指導のポイント講義）  
（事例における専門家（喫煙・飲酒等）からのポイント講義）

### 3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象（医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）

#### ●第1回 遺伝学的検査アドバイザー 研修会

日 時：2019年7月26日（金） 14：05～15：35

会 場：ANA クラウンプラザホテル岡山

参加者：438名

「予防医学と遺伝医学の新展開」

「遺伝学的検査アドバイザー研修 e-learning の重要項目」

「遺伝カウンセリングの基本」

「乳がん卵巣がん症候群未発症者サーベイランスと MRI 検診」

#### ●第2回 遺伝学的検査アドバイザー 研修会

日 時：2019年11月30日（土） 14：00～16：00

会 場：AP 品川

参加者：112

理事長挨拶

「e-learning の重点項目とアップデート」

「遺伝カウンセリングの実際」

「遺伝学的検査依頼に必要な基礎知識」

## （収益事業等）

### Ⅷ. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業

#### 1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2020年3月末現在の指定施設は、一日ドックのみ141施設、二日ドックのみ5施設、一日ドック・二日ドック両方336施設である。

なお、旧制度の二日ドック指定施設は、現制度（機能評価認定）移行までの暫定措置期間2020年3月末を以て指定を終了とする。

#### 2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)

2020年3月末現在の集合契約委託参加施設は1,677施設である。またこの集合契約を利用する保険者団体は健康保険組合連合会、全国健康保険協会、共済組合連盟、地方公務員共済組合協議会、日本私立学校振興・共済事業団等13団体となっている。

## IX. その他の事業(相互扶助等事業)

### 1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから、引き続き2019年度も学術委託研究を公募した。

公募期間は2019年6月～9月末までとし16研究の応募があった。審査委員19名の5段階評価による採点を行った結果、7研究を採択し、通知を行った。

当該採択された研究は、今後学術大会にて中間報告、論文発表等を行い、公表していく。

- |   |       |
|---|-------|
| 1) 前立腺体積補正 proPSA 関連インデックス・前立腺 MRI による臨床的に重要な前立腺がん診断アルゴリズムの構築   | 伊藤 一人 |
| 2) 生活習慣改善による個人別検査値変化量の有意性評価基準の確立                                | 川野 伶緒 |
| 3) 検診 PET-CT 画像・血液データを活用した褐色脂肪組織の新規バイオマーカーの探索と人間ドック新規採血項目としての応用 | 清水 良子 |
| 4) ロコモ度テスト評価を基盤とした生活指導プログラムの開発                                  | 中川 良  |
| 5) 多施設共同コホートを用いた睡眠状況と生活習慣病との関連の解明                               | 高橋 真美 |
| 6) 骨密度低下と心血管関連指標の包括的検討(潜在的な心機能障害ならびに肥満フェノタイプの検証を含む)             | 水野 由子 |
| 7) 黄砂及び大気汚染物質暴露が健診受診者の循環動態や免疫応対に及ぼす影響                           | 榎田 出  |

# 決算報告

令和2年3月31日 現在

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	257,916,010	236,950,796	20,965,214
未収金	937,462	2,224,605	1,287,143
前払金	9,085,356	8,184,747	900,609
仮払金	46,720	0	46,720
流動資産合計	267,985,548	247,360,148	20,625,400
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,401,214	1,561,203	159,989
什器備品	1,011,848	737,385	274,463
ソフトウェア	448,800	51,840	396,960
その他固定資産合計	2,861,862	2,350,428	511,434
固定資産合計	2,861,862	2,350,428	511,434
資産合計	270,847,410	249,710,576	21,136,834
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,232,820	1,083,764	149,056
未払消費税等	2,130,100	2,752,100	622,000
前受金	16,020,000	9,046,000	6,974,000
預り金	680,039	976,207	296,168
仮受金	61,000	0	61,000
賞与引当金	4,235,547	4,070,316	165,231
流動負債合計	24,359,506	17,928,387	6,431,119
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,194,960	5,037,740	157,220
固定負債合計	5,194,960	5,037,740	157,220
負債合計	29,554,466	22,966,127	6,588,339
正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	170,208,131	155,659,636	14,548,495
一般正味財産合計	170,208,131	155,659,636	14,548,495
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	241,292,944	226,744,449	14,548,495
負債及び正味財産合計	270,847,410	249,710,576	21,136,834

## 貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	1,182,130	256,733,880	0	257,916,010
未収金	0	937,462	0	0	937,462
前払金	4,029,579	20,917	5,034,860	0	9,085,356
仮払金	46,720	0	0	0	46,720
流動資産合計	4,076,299	2,140,509	261,768,740	0	267,985,548
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	1,226,062	87,576	87,576	0	1,401,214
什器備品	0	0	1,011,848	0	1,011,848
ソフトウェア	448,800	0	0	0	448,800
長期預け金	0	0	35,629,983	35,629,983	0
その他固定資産合計	1,674,862	87,576	36,729,407	35,629,983	2,861,862
固定資産合計	1,674,862	87,576	36,729,407	35,629,983	2,861,862
資産合計	5,751,161	2,228,085	298,498,147	35,629,983	270,847,410
負債の部					
1. 流動負債					
未払金	782,988	0	449,832	0	1,232,820
未払消費税等	1,907,120	222,980	0	0	2,130,100
前受金	16,020,000	0	0	0	16,020,000
預り金	580,150	21,225	78,664	0	680,039
仮受金	0	0	61,000	0	61,000
賞与引当金	3,859,054	141,185	235,308	0	4,235,547
流動負債合計	23,149,312	385,390	824,804	0	24,359,506
2. 固定負債					
退職給付引当金	4,733,186	173,165	288,609	0	5,194,960
長期預り金	35,542,407	87,576	0	35,629,983	0
固定負債合計	40,275,593	260,741	288,609	35,629,983	5,194,960
負債合計	63,424,905	646,131	1,113,413	35,629,983	29,554,466
正味財産の部					
1. 基金					
基金	35,542,406	0	35,542,407	0	71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	93,216,150	1,581,954	261,842,327	0	170,208,131
一般正味財産合計	93,216,150	1,581,954	261,842,327	0	170,208,131
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	57,673,744	1,581,954	297,384,734	0	241,292,944
負債及び正味財産合計	5,751,161	2,228,085	298,498,147	35,629,983	270,847,410



正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	112,978,000	110,309,000	2,669,000
正会員受取会費	60,478,000	59,009,000	1,469,000
施設会員受取会費	51,510,000	50,370,000	1,140,000
賛助会員受取会費	990,000	930,000	60,000
事業収益	214,133,800	199,955,500	14,178,300
学術大会参加収益	52,647,000	45,042,000	7,605,000
学術大会展示出店料収益	24,908,000	23,044,000	1,864,000
学術大会共催セミナー収益	25,776,800	12,670,000	13,106,800
認定医・専門医研修会事業収益	14,840,000	21,920,000	7,080,000
専門医試験・認定事業収益	5,788,000	6,044,000	256,000
認定医認定・更新事業収益	7,830,000	7,620,000	210,000
情報管理指導士研修認定事業収益	34,924,000	40,453,000	5,529,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	672,000	0	672,000
機能評価審査・認定事業収益	25,750,000	21,550,000	4,200,000
指定事業収益	19,130,000	19,660,000	530,000
雑誌販売事業収益	1,868,000	1,952,500	84,500
受取補助金等	1,550,000	9,000,000	7,450,000
受取補助金	1,550,000	9,000,000	7,450,000
受取寄付金	3,050,000	2,714,600	335,400
受取寄付金	3,050,000	2,714,600	335,400
雑収益	9,525,363	10,917,930	1,392,567
受取利息	2,690	4,127	1,437
広告掲載料収益	3,017,600	3,644,000	626,400
雑収益	6,505,073	7,269,803	764,730
経常収益計	341,237,163	332,897,030	8,340,133
(2) 経常費用			
事業費	300,683,775	282,803,416	17,880,359
給料手当	50,352,246	49,330,978	1,021,268
法定福利費	7,742,802	7,395,553	347,249
退職給付費用	2,322,086	2,363,859	41,773
旅費交通費	20,527,761	18,823,273	1,704,488
通信運搬費	10,307,113	10,104,976	202,137
減価償却費	282,140	295,375	13,235
消耗品費	551,245	8,350,972	7,799,727
印刷製本費	46,520,516	41,751,140	4,769,376
光熱水料費	536,214	583,284	47,070
賃借料	50,196,736	42,507,037	7,689,699
会議費	8,468,178	8,178,128	290,050
諸謝金	8,047,195	11,171,054	3,123,859
租税公課	4,588,500	4,917,000	328,500
委託費	84,170,871	73,577,995	10,592,876
支払助成金	5,515,684	3,059,606	2,456,078
雑費	554,488	393,186	161,302
管理費	26,004,893	24,908,533	1,096,360
給料手当	3,695,008	3,674,387	20,621
法定福利費	570,850	551,950	18,900
退職給付費用	167,134	174,062	6,928
福利厚生費	644,130	774,864	130,734
旅費交通費	7,577,339	7,617,599	40,260
通信運搬費	2,550,669	1,978,117	572,552
減価償却費	636,050	498,395	137,655
消耗品費	1,416,935	734,730	682,205
印刷製本費	886,127	1,027,110	140,983
光熱水料費	31,542	34,311	2,769
賃借料	1,205,477	1,115,106	90,371
会議費	416,428	748,151	331,723
保険料	440,763	484,509	43,746
諸謝金	50,000	175,000	125,000
租税公課	71,250	72,695	1,445
委託費	4,624,304	4,822,536	198,232
交際費	264,420	119,756	144,664
雑費	756,467	305,255	451,212
経常費用計	326,688,668	307,711,949	18,976,719
当期経常増減額	14,548,495	25,185,081	10,636,586
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	8,862,551	8,862,551
固定資産除売却損	0	162,877	162,877
過年度賞与引当金繰入額	0	3,943,845	3,943,845
過年度退職給付費用	0	4,755,829	4,755,829
当期経常外増減額	0	8,862,551	8,862,551
当期一般正味財産増減額	14,548,495	16,322,530	1,774,035
一般正味財産期首残高	155,659,636	139,337,106	16,322,530
一般正味財産期末残高	170,208,131	155,659,636	14,548,495
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
正味財産期末残高	241,292,944	226,744,449	14,548,495



2203	退職給付費用	117,496,382	41,541,967	71,759,478	44,278,822	16,287,119	507,462	291,871,230	3,270,237	5,542,308	0	8,812,545	26,004,893	0	167,134	0	167,134
2204	福利厚生費	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	644,130	0	644,130
2205	旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,577,339	0	7,577,339
2206	通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,550,669	0	2,550,669
2207	減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	636,050	0	636,050
2208	消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2209	消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,416,935	0	1,416,935
2210	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2211	印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	886,127	0	886,127
2212	光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,542	0	31,542
2213	賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,205,477	0	1,205,477
2214	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	416,428	0	416,428
2215	保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	440,763	0	440,763
2216	諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
2217	租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,250	0	71,250
2218	委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,624,304	0	4,624,304
2219	交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	264,420	0	264,420
2220	雑費	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	756,467	0	756,467
	【経常費用計】	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	26,004,893	0	326,688,668
	■評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2810 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2820 特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2830 投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【評価損益等計】	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	14,548,495	0	14,548,495
	【当期経常増減額】	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	14,548,495	0	14,548,495
	【2. 経常外増減の部】																
	(1) 経常外収益																
	※固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 経常外費用																
	※固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	14,548,495	0	14,548,495
	■他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【当期一般正味財産増減額】	△ 6,470,401	△ 40,688,668	△ 14,693,478	△ 8,682,822	△ 16,287,119	55,981,538	△ 30,840,950	20,105,177	△ 5,542,308	0	14,562,869	30,826,576	0	14,548,495	0	14,548,495
	【一般正味財産期首残高】	△ 74,454,991	△ 380,544,771	△ 90,051,774	△ 80,682,583	△ 143,882,519	77,979,424	△ 8,843,064	5,542,308	△ 5,542,308	0	0	23,391,559	0	14,548,495	0	14,548,495
	【一般正味財産期首残高】	△ 80,925,392	△ 421,233,439	△ 104,745,252	△ 89,345,405	△ 159,969,638	763,002,976	△ 93,216,150	10,199,060	△ 8,617,106	0	1,581,954	261,842,327	0	155,659,636	0	155,659,636
	【一般正味財産期末残高】	△ 80,925,392	△ 421,233,439	△ 104,745,252	△ 89,345,405	△ 159,969,638	763,002,976	△ 93,216,150	10,199,060	△ 8,617,106	0	1,581,954	261,842,327	0	170,208,131	0	170,208,131

## II. 指定正味財産増減の部

	受取補助金等																
	.....																
	一般正味財産への振替額																
	【当期指定正味財産増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【指定正味財産期首残高】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【指定正味財産期末残高】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## III. 基金増減の部

	■基金受入額																
	■基金返還額																
	【基金増減額】																
	【基金期首残高】	0	0	0	0	0	35,542,406	35,542,406	0	0	0	0	0	0	35,542,407	0	71,084,813
	【基金期末残高】	0	0	0	0	0	35,542,406	35,542,406	0	0	0	0	0	0	35,542,407	0	71,084,813

## 【IV 正味財産期末残高】

	△ 80,925,392	△ 421,233,439	△ 104,745,252	△ 89,345,405	△ 159,969,638	798,545,382	△ 57,673,744	10,199,060	△ 8,617,106	0	1,581,954	297,384,734	0	241,292,944	0	241,292,944
--	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	-------------	--------------	------------	-------------	---	-----------	-------------	---	-------------	---	-------------

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物附属設備

什器備品

定率法

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

什器備品

15年

4年～10年

無形固定資産

ソフトウェア

定額法

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

退職給付引当金

職員の退職給付に備える為、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,906,000	1,504,786	1,401,214
什器備品	4,693,083	3,681,235	1,011,848
合計	7,599,083	5,186,021	2,413,062

### 3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
コンベンション開催事業補助金	(公社)おかやま観光コンベンション協会	0	1,500,000	1,500,000	0	
郷土芸能等アトラクション費用補助金	(公社)おかやま観光コンベンション協会	0	50,000	50,000	0	
合計		0	1,550,000	1,550,000	0	

# 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金預金	振替貯金	支払資金として使用	31,811,488
	：ゆうちょ銀行一番町郵便局(9口座)		
	普通預金	支払資金として使用	86,045,958
	：三井住友銀行麹町支店(3口座)		
	定期預金		30,058,564
	：三井住友銀行麹町支店		
：ゆうちょ銀行一番町郵便局			
	：大和ネクスト銀行	100,000,000	
未収入金	特定健診パンフレット・DVD著作権料		937,462
前払金	翌年度事務所賃料		627,495
	翌年度研修会等会場費		3,457,861
	翌年度学術大会前払額		5,000,000
仮払金	交通費仮払		46,720
流動資産合計			267,985,548
<b>(固定資産)</b>			
その他固定資産			
建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室	1,401,214
		公益目的事業に87.5%、収益事業等に6.25%、法人管理に6.25%使用	
什器備品	パーソナルコンピューター コピー機 Web会議用備品一式 電話設備	会員管理・事業管理用	570,948
		会員管理・事業管理用	2
		会員管理・事業管理用	90,447
		会員管理・事業管理用	350,451
ソフトウェア	公益目的事業管理ソフト	会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産)	448,800
固定資産合計			2,861,862
資産合計			270,847,410
<b>(流動負債)</b>			
未払金	経費未払額		1,232,820
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		2,130,100
前受金	次年度事業前受金		16,020,000
預り金	源泉所得税、住民税 社会保険料		281,499
			398,540
仮受金	会費等二重払い		61,000
賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額のうち当期対応額	4,235,547
流動負債合計			24,359,506
<b>(固定負債)</b>			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,194,960
固定負債合計			5,194,960
負債合計			29,554,466
正味財産			241,292,944

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	4,070,316	4,235,547	4,070,316	0	4,235,547	
退職給付引当金	5,037,740	157,220	0	0	5,194,960	